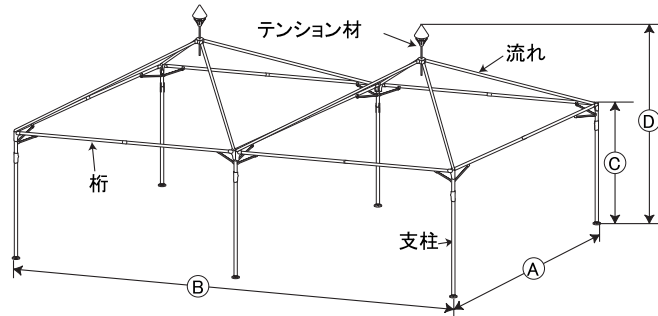
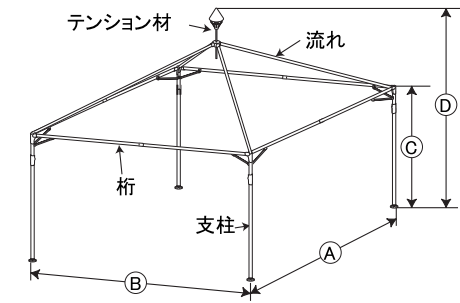


外観図

組立て説明書



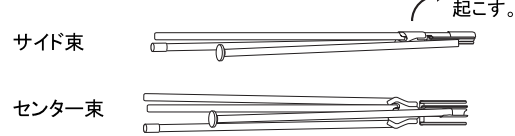
規格	広さ		奥行(A)		間口(B)		軒高(C)	棟高(D)
	m	坪	m	間	m	間		
1.5間×1.5間	7.29	2.25	2.7	1.5	2.7	1.5	2.0	3.20
2間×2間	12.96	4	3.6	2	3.6	2	2.0	3.53

規格	広さ		奥行(A)		間口(B)		軒高(C)	棟高(D)
	m	坪	m	間	m	間		
1.5間×3間	14.58	4.5	2.7	1.5	5.4	3	2.0	3.20
2間×4間	25.92	8	3.6	2	7.2	4	2.0	3.53

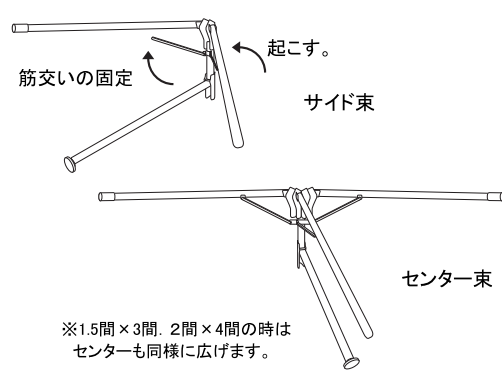
骨組みの組立て

1. サイド束、センター束を折りたたんだ状態から広げ、筋交いの固定をします。

① コーナーの金具を起こします。

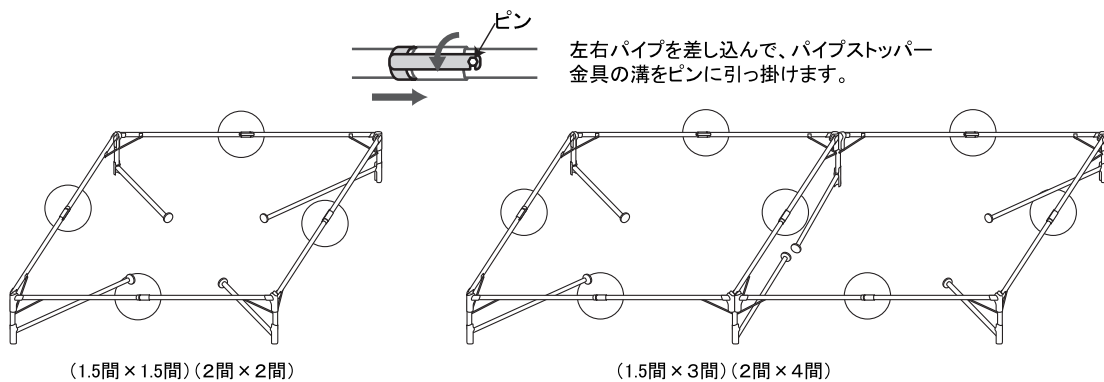


② 桁パイプを持ち上げながら筋交いを取付けます。



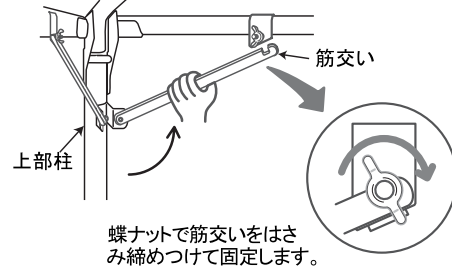
※1.5間×3間、2間×4間の時はセンターも同様に広げます。

2. 下図のような位置にサイド束、センター束を配置し、桁パイプ、はりパイプをパイプストッパー金具で固定します。(サイド束は四隅どの位置に配置しても、ジョイント可能です。(センター束は、はりパイプがオン。メンと2種類を1台に使用します。))

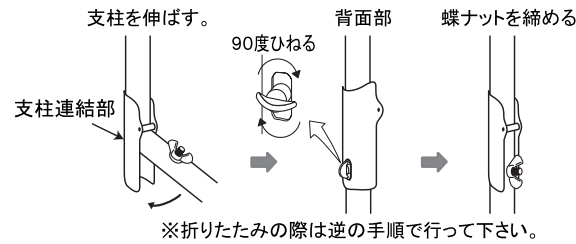


警告 筋交い、支柱は、必ず確実に固定して下さい。テントの強度に関わる重要な部分です。取付けを怠ると、少しの衝撃でテントが倒れ、事故の原因になる恐れがあります。

筋交いの固定



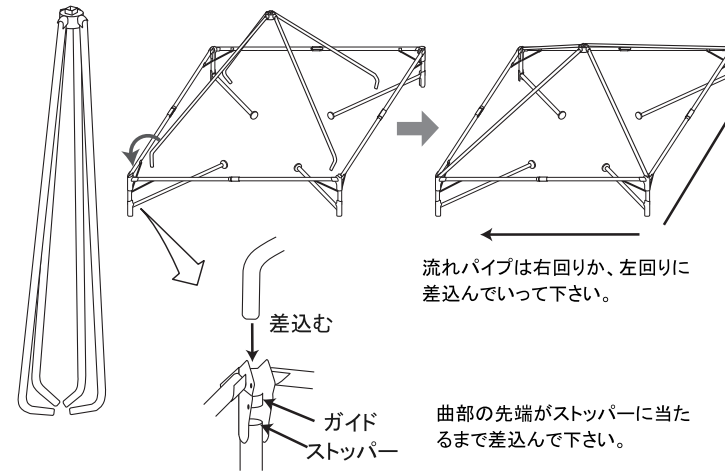
支柱の固定(スーパーボルト使用方法)



※折りたたみの際は逆の手順で行って下さい。

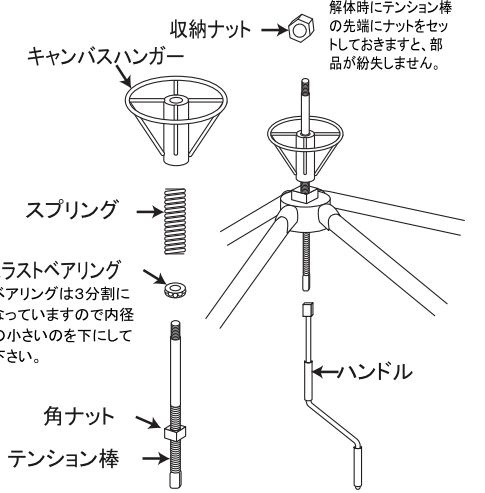
3. 枠組の中心にセンター流れパイプを置き、流れパイプを広げながら、パイプ先端の曲部を肩口に差込んでいきます。続いて、センター流れパイプ中心部に、テンション材をセットします。

センター流れパイプ



曲部の先端がストッパーに当たるまで差込んで下さい。

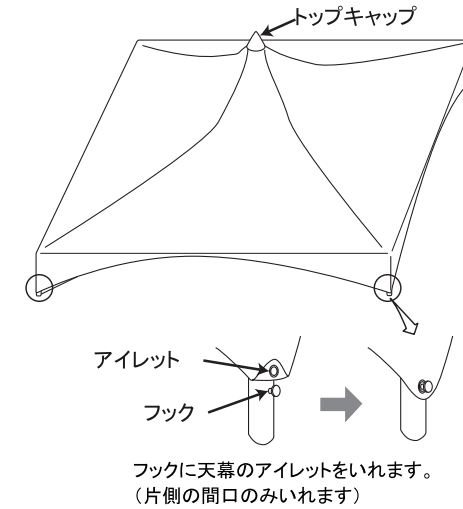
テンション棒を上から入れ、ベアリング、スプリング、キャンバスハンガーをセットします。



解体時にテンション棒の先端にナットをセットしておきますと、部品が紛失しません。

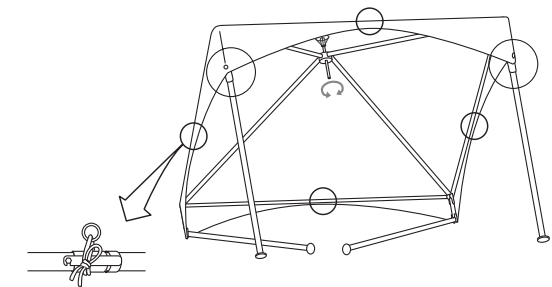
スラストベアリングベアリングは3分割になっていますので内径の小さいのを下にして下さい。

4. 天幕を被せながら、トップキャップを取付け、片側の間口の下部のフックにアイレットを入れます。次に支柱を片側建て上げ、スーパーボルトで固定し、建て上げた側のフックにアイレットを入れます。桁中心部に天幕の紐を結び付けた後、ハンドルでテンション棒をまわし、天幕を張ります。



フックに天幕のアイレットをいれます。(片側の間口のみにいれます)

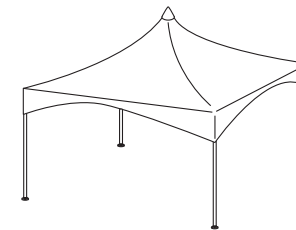
建て上げた支柱をスーパーボルトで固定し、(組立・参照) 建て上げた側のフックに天幕のアイレットを入れます。



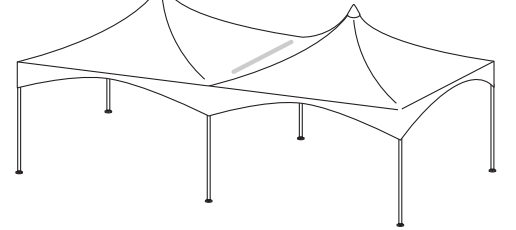
フックのセット、桁中心部の天幕の紐が結べれば、ハンドルでテンション棒を回しながら突き上げていき、天幕を張ります。

5. 反対側の支柱を建て上げ、同様にスーパーボルトで支柱を固定します。

(1.5間×1.5間)
(2間×2間)



(1.5間×3間)
(2間×4間)



注意

ご使用前に必ずお読みください

※立て上げた後は安全のためメーカー専用ウエイト、杭、ロープ等で安全対策をしてください。
※短期間でのご使用を目的とした仮設テントですので悪天候時でのご使用はお控えください。
※予期せぬ突風が吹く場合がありますので必ず風対策は万全の注意をしてください。